

# 研究構想図

「わかった!」「できた!」

学ぶ喜び・知る楽しさがあふれる学校

<p>&lt;学校教育の今日的課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な変化に積極的に向き合い、他者と協力して解決していくこと</li> <li>・様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと</li> <li>・複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすること (学習指導要領解説より)</li> </ul>	<p>&lt;教育目標&gt;</p> <p>助けあう子ども 自他を大切にし、人のために進んで行動できる子</p> <p>◎考える子 「はてな」を大切に、主体的に追究できる子</p> <p>やりぬく子 気付き、考え、動くことができる子</p> <p>しょうぶな子 心も体も元気でへこたれない強い子</p>	<p>&lt;教員の指導力向上を図る&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5・6年度新宿区教育課題研究校として、体育科を中心に授業改善を図り、授業実践を行った。本年度は、運動に親しみ、思考力・判断力・表現力を働かせながら技能を身に付けさせる指導を行うために、体育科の構造を理解し、教師の指導技術の向上を図っていく。</li> <li>・併設幼稚園とともに研究を進めることで、幼少接続9年間を見通した保育指導の充実を図る。</li> </ul>
---	--	---

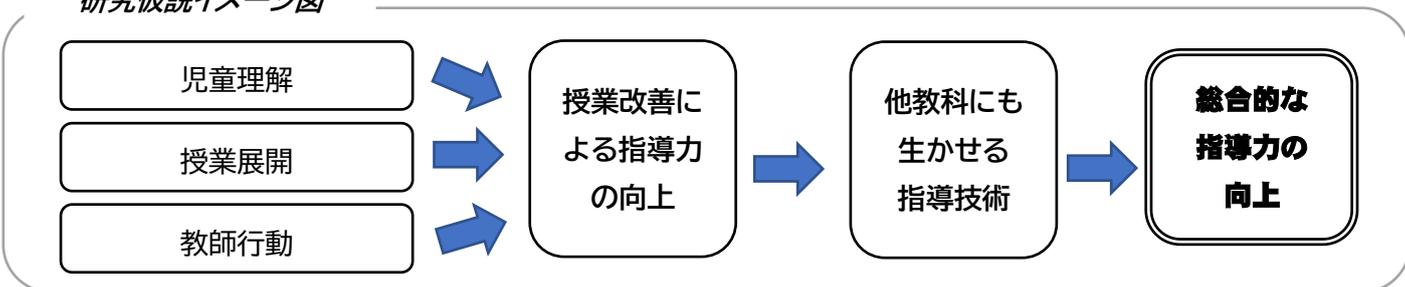
研究主題

教員の指導力向上

— 児童が運動に親しみ、思考力・判断力・表現力を働かせて知識・技能を身に付ける姿を目指して —

めざす具体的な児童像		
低学年	中学年	高学年
順番や約束を守って運動遊びに親しみ、助け合ったり、認め合ったりしながら運動遊びを工夫し、楽しむことができる児童	きまりを守り、楽しく運動しながら課題を発見し、他者と考えを伝え合って、できるように努力する児童	安全に気を付けて積極的に運動を楽しみながら、合理的な課題解決の仕方を組み立て、知識や技能を身に付けようとする児童

## 研究仮説イメージ図



(研究の仮説)児童が運動に親しみ、思考力・判断力・表現力を働かせて知識・技能を身に付ける姿を目指して、「授業展開」「児童理解」「教師行動」の視点で授業改善を行い、教員各自が自身の授業に生かせる学びを得れば、教師の指導力は向上する。

<協議の視点> 『児童の姿で語る協議会』

- A 児童は、めあてに沿った課題を発見し、解決に向かっていたか。⇒「授業展開」と「教師行動」
- B 児童は、教師の言葉掛けによって意識や行動が変容したか。⇒「児童理解」と「教師行動」
- C 教師は、本授業提案によってどのような学びを得たか。

※例えば、Aの視点なら児童の様子を受けて授業展開と教師行動について協議する。Cの視点は、どのような教科領域で応用できるかを中心に協議する。

<研究仮説に至る教員の話し合いで出た内容> ⇒ 授業提案につなげる

〇〇すれば(できれば)、教師の授業力が向上する(向上した)と言える。

### **【授業展開】「単元の目的・評価の明確さ」「運動の特性・系統性の理解」「課題解決型の授業展開」**

- ・授業の流し方を理解し、それを基に授業ができれば
- ・ゴールイメージが明確になれば(目的をもって指導できれば)
- ・児童に身に付けさせたい力が明確になれば
- ・子ども達が追究する姿が見られれば
- ・子ども達が自分たちで課題を見つけることができ、学び合える姿が見られれば(子どもたちが自力解決を行う姿を見られる授業を行えれば)
- ・子ども達の学び方を組み立てることができれば
- ・その時間の評価基準が明確ならば
- ・運動の特性を理解し、どの部分を使用するとよいか分かれば
- ・系統性を正しく理解できれば
- ・全員参加型の授業が達成できれば

### **【児童理解】「児童の意欲向上」と「実態把握」**

- ・子ども達が笑顔で楽しんで運動する姿が見られる授業ができれば
- ・意欲の低い児童を引き上げる授業ができれば
- ・児童から「またやりたい」が聞かれれば
- ・子どもを引き付ける導入が適切にできれば
- ・児童にとって必然性を設ければ
- ・児童の言葉に着目して授業を構築すれば
- ・児童の苦手なところを底上げするためにどのようなアプローチが必要なのかということを念頭において、授業計画を立て教材研究をすれば
- ・伝えるためのボキャブラリーや伝える方法の引き出しをたくさん持って、実態に合わせた選択をする力があれば

### **【教師行動】「言葉掛け」と「明確なめあての伝達」**

- ・教師が言葉を掛けなくても児童が学習を進める授業ができれば
- ・誰にでもわかりやすい言葉を選び指導するよう心掛ければ
- ・子どもたち同士の話し合いが広がる言葉掛けができれば
- ・児童が関わり、学び合うための言葉掛けを探っていけば(言葉掛け集を作る等)、
- ・めあてがはっきりし、子どもたちにもそれを伝えることができれば

### **【その他】「他者の授業から学ぶ姿勢」**

- ・他の先生の授業を見て振り返り、どこがよかったのかわかりそれを応用できれば
- ・模範授業を見ることができれば